

地震調査研究推進本部 政策委員会
第3回 総合的かつ基本的な施策の評価に関する小委員会
議事要旨(案)

1. 日時 平成17年9月15日(木) 13時00分～15時00分

2. 場所 (財)地震予知総合研究振興会(千代田ビル 5階)会議室
東京都千代田区猿楽町1-5-18

3. 出席者

[主 査] 樋口 公啓 東京海上日動火災保険株式会社相談役

[委 員] 片山 恒雄 独立行政法人防災科学技術研究所理事長

林 春男 京都大学防災研究所教授

藤吉洋一郎 大妻女子大学文学部コミュニケーション文化学科教授

[政策委員会・地震調査委員会]

岡田 恒男 政策委員会委員長

津村建四朗 地震調査委員会委員長

長谷川 昭 調査観測計画部会部会長

鳥井 弘之 予算小委員会主査

廣井 脩 成果を社会に生かす部会部会長

[関係省庁]

藤田 和久 総務省消防庁防災課震災対策専門官

畠山 孝 経済産業省産業技術環境局知的基盤課課長補佐

今給黎哲郎 国土地理院地理地殻活動研究センター地殻変動室長

橋本 徹夫 気象庁地震火山部地震予知情報課評価解析官

渡辺 一樹 海上保安庁海洋情報部技術・国際課地震調査官

[事務局]

西尾 典真 文部科学省研究開発局地震・防災研究課長

横山 博文 文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査管理官

中島 秀敏 文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査研究企画
官

加藤 晃一 文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災研究地域連携
推進官

4. 議事要旨

- ・ 前回議事要旨について、事務局案のとおりとされた。

(地震調査研究に関するロードマップについて)

- ・ 事務局から内容を修正した資料評3 - (2)「地震による被害軽減に向けた取組について(案)」について、説明があった。
- ・ 内容について特別な意見は出されず、現在の地震調査研究推進の枠組や考え方を俯瞰するものとして、今後の評価の際の参考とすることで了解がなされた。

(実績評価の判断基準について)

- ・ 第2章については、個々の施策が実施されているかではなく、その施策によって目指された状況が実現しているかどうかを評価の基準とする方が良いとの意見が出された。このことに関連し、第2章は理念的なものが多く、第3章は具体的な施策を記述しているので、評価の方法は分けた方が良いとの意見が出され、さらに、評価については、方向性、目標達成度、計画達成度の3つの視点があるので、この点を踏まえて再度全体を整理してみてもどうかとの意見もあった。また、第2章は、望まれる状況や方向性だけでなく、第3章のように具体的な施策を記述した部分もあるので、この点を踏まえた工夫が必要であるとの意見も出された。
- ・ 例えば、インターネットでの公開等実施されているか否かが評価の対象になっているが、評価を行う上で、アクセス数等定量的に評価できる実績を出せないかとの意見が出された。
- ・ 大きな規模の地震が起こった際に地震調査委員会により地震の評価が1日後には出され、社会的なインパクトも大きいところであり、このような事項に関する評価も加えるべきではないかとの意見が出された。
- ・ A、B、C、Dを付けると記号だけが一人歩きする恐れがあるので、その意味をしっかりと記載していく必要があるとの意見が出された。
- ・ 同じ内容が実績欄に何回にもわたって出てくるので、表現を工夫すべきとの意見が出された。
- ・ 今回の意見を踏まえ、次回小委員会までに評価の観点・方法等について事務局で案を作成し、各委員に照会の上、とりまとめを行うことが確認された。